

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 6 日

事業所名 しあわせ駅 経塚

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	2			個別活動時に各部屋に適切に職員を配置を徹底し、児童がより安全に活動できるように配慮する。
	2	職員の配置数は適切である	4	5			配置基準は満たしているが、新しい職員が入ったため、各々の児童の特性、状況を把握が現在、課題である。少しずつ関わられるように情報の共有を徹底を図る。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	2	6	手すりを付け段差をなくし安全に過ごせるように配慮している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	4		ミーティングや隙間時間を利用して情報を共有している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	3			保護者の意見を積極的に取り入れ、業務の改善に努めていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	3	1	毎年、ホームページで公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	6	1		実施できていない。今後導入を検討予定。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	2		本社にて研修を行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	1		本人や、保護者のニーズや課題に対する支援方法を全職員で検討して個別支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	2	1	個々に合わせたアセスメントシートを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1		全職員の意見を取り入れプログラムを立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	2		全職員の意見を取り入れマンネリ化しないようにプログラムを作成している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	3		支援時間や季節ごとに活動内容や活動範囲を考え、支援時間を有効に使えるように心がけている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	2		全職員が児童1人1人の特性等を把握し意見を出し合いながら情報を共有したうえで支援計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	3		パートさんも含め毎日行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2			退社時刻までに行うことが難しい場合は、申し送り帳への記入や翌日のミーティングで情報共有を心がけている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	1		支援目標を意識しながら日々の記録を取っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9			定期的に支援計画の評価と見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3	6			全職員がガイドラインを意識した取り組みを行い、さらに業務の改善に努めたい。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	1			できるだけその児童と関りが多く、現状を理解している職員が参画できるような体制を整えている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	2		送迎時、こまめに情報共有を行い、全職員に確認、共有を行っている。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	6	2		現在対象児童がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	4	2		現在対象児童がいない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	4	1		要望があった場合のみ提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	4	1		研修などの機会があれば全員が参加できるような体制を整えていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	7	1		公園などでの機会しかなかった為、今後、検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	5	3		これまで機会がなかった為、今後情報を調べて参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	2		送迎時にその日あったことを伝えるように心がけている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	5	2		コロナやインフルエンザが落ち着いてきた為、今後、企画を検討していきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	2			契約時に必ず書面や口頭で説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	3			専門家の意見を取り入れながら、必要な助言が適切にできるよう、勉強する場を設けていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5	3		コロナやインフルエンザが落ち着いてきた為、今後、企画を検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9			苦情があった際は全職員で共有し話し合いをするように心がけている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1		月2回の動画で保護者に発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	8	1		個人情報が記入された書類等を破棄する際は、全てシュレッダーを使用している。	
非常時等の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	3		手話で意思疎通を図り、lineを用いて情報伝達を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	3	5	1		個人情報の観点から地域住民を招いての交流は行っていない。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	3			各マニュアルは職員に周知、ファイルで保管しているが、今後保護者への周知徹底を図ってきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	1			最近、事業所の引っ越しを行ったため、改めて、計画し実施する予定である。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	2		本社にて研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	4	1		今後、身体拘束を必要とする児童がいる場合に備えてマニュアルをもとに全職員が周知を行い、個別支援計画のもの追記記載を行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	1			医師からではなく、保護者の指示のもと対応している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1		ヒヤリハット事例集も含め報告書をファイル化している。		